

S&Uだより

safety & useful 発行 No285

2021年8月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

「観戦」は無観客に「感染」は最高潮に・・・コロナ禍のオリンピックがとうとう始まりました。

近代オリンピックの創始者クーベルタンが提唱した、オリンピックのあるべき姿。「スポーツを通して心身を向上させ、さらには文化・国籍などさまざまな差異を超え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって理解し合うことで、平和でよりよい世界の実現に貢献する」というものです。

1896年、ギリシャ・アテネで第一回が開催された近代オリンピック競技会は、その理念である「オリンピズム」の実現に向けて、一世紀以上の歴史を刻んできました。IOCのオリンピック憲章では、オリンピズムを「肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学」、また「スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するもの」と定め、その目的を「人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てること」と示しています。

そして、「オリンピックは、勝つことではなく参加することにこそ意義がある」の言葉が有名ですが、実はこの言葉はクーベルタン男爵の考え出したものではないそうです。この言葉は聖公会のペンシルベニア大主教であるエセルバート・タルボットが1908年のロンドンオリンピックの際にアメリカの選手たちに対して語った言葉であると言われています。

1908年のロンドン大会が開催された当時、アメリカとイギリスは犬猿の仲となっており、アメリカの選手団はロンドンに来てから色々な嫌がらせを受けたそうです。それで気の滅入ってしまったアメリカ選手団が気分転換にセント・ポール大聖堂の聖餐式に出かけたところ、この大聖堂で説教を受けて、大いに勇気づけられたということです。この時の出来事とセリフが伝わり感銘を受けたクーベルタン男爵が、各国のオリンピック関係者を招いての晩餐会の席上でのスピーチで引用して演説したところ、たちまちこのセリフが「クーベルタン男爵の演説」として有名になり世界に広まってしまった、というのが真相であると伝えられています。また、クーベルタン男爵はこの席で「自己を知る、自己を律する、自己に打ち克つ、これこそがアスリートの義務であり、最も大切なことである」とも語っているのですが、こちらは本人が考え出したセリフだそうです。しかし、一方で、「女性をオリンピックに参加させることは、実際的でなく、面白くなく、不快で、間違っている」「女性の誇りは、産む子供の数とクオリティーを通してはっきりと表に現れる。そしてスポーツについて言えば、女性の素晴らしい偉業は、自分の記録を出すことではなく、息子たちを勝利に向けて励ますことだ」という発言もあるそうで、オリンピックは男性のためにあるスポーツの祭典とされていました。現代ではあからさまな女性差別発言ですが、当時はこの発言に違和感を覚える人はあまりいなかったのです。2020オリンピック「トランスジェンダー選手の出場」をめぐる議論が起きていますが100年もたつと時代とともに本当に色々に変遷していくものだ驚かされます。

昔とは比較にならないほどオリンピックの商業化が進み、国境を越えたグローバルな人間の移動が日常化している今日、オリンピックに社会的な意義を求めるのは困難なのかもしれません。20年大会は、東日本大震災と関連づけて「復興五輪」といった意味づけがなされてきましたが、冷ややかな見方も少なくなく、社会的合意を得られているとは言い難いところがあります。

そして、まさかの コロナ禍・・・感染はとどまらず「緊急事態宣言下の日本で 安全安心のオリンピック」「コロナに打ち勝った日本」無理なごり押しとしか思えない大会で 日々オリンピック関連の感染者も増えています。5年頑張ってきてようやく大会にやってきた金メダル候補も 直前にコロナ陽性となり出場断念という なんともやりきれない顛末もありました。ともかく 始まったオリンピック なるべく感染者を抑え 終盤を迎えてほしいと 祈るばかりです。

夏季五輪は2024年パリ、28年ロサンゼルスまでが決まっています 32年ブリスベンでの開催はつい先日決まりました。「延期」であっても社会的、経済的なダメージが大きいことを世界中が知ってしまいましたので、今後招致を希望する都市がますます減っていくことが予想されるどころでした。IOC側は青田買的に一本釣りしたのでは？とも言われています。IOCの過剰な要求や利権を排除出来れば 良い祭典もできるかもしれませんね。東京大会がその先鞭になれば良かったのですが・・・さあ これからのオリンピック 果たしてどう変わっていくのでしょうか？

マルジン 8月のカレンダー							～＜お盆休みのお知らせ＞～
日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	8月13日(金)～ 8月16日(月)まで 17日より通常営業させていただきます。 御仕事のご依頼も目白押し!! ご依頼は お早目をお願いいたします。
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

2021年8月第285回は～建設キャリアアップシステム～について

最近 現場でも相当耳にするようになってまいりました建設キャリアアップシステム(Construction Career Up System, 略称 CCUS)とは、建設業に関わる技能者の資格・社会保険加入状況・現場の就業履歴などを登録・蓄積し、技能者の適正な評価や建設事業者の業務負担軽減に役立てるための仕組みのことで、国土交通省が推進しています。

2020年1月には、国土交通省により外国人技能実習生のCCUS登録義務化が施行され、ますます対応が急務となる同システムで、公共工事は2023年度には「原則化」となるようです。

ネットなどではこのシステムを評して「カネカネアップシステム」とか「デメリットだらけ」となかなかの酷評が飛び交っています。

そして 開始されて加入が伸びず 維持費だけがかさみなんと100億円の赤字だとか・・・これではダメだ！ということで ともかく公共事業やゼネコンを中心にテコ入れ 加入を催促されるようになるだろうとのことです。加入を勧める立場の方からの意見は

- ・大切な「人材」のためにも加入を
- ・デメリットよりメリットの方が圧倒的に多い
- ・職人のためにも加入すべき！会社のためにもなりませぬ嫌な気持ちも分かるけど早く登録した方がいい
- ・CCUS未登録だと技能実習生が雇えない
- ・催促来てから加入するより早いに越したことはない

建設キャリアアップシステムへの未登録が招くデメリットとして

- 1.建設業界における経営事項の審査で加点してもらえない
- 2.公共工事を受けられない可能性がある
- 3.元請け業者からの仕事の優先順位が落ちる
- 4.事務作業負担が増える
- 5.長期雇用が実現しにくくなる

などがあると 行政書士のページに書かれています。結局のところ「登録が大変ですから私も使って登録しませんか？」ということをアピールされているようです。

建設キャリアアップを実際に登録して運用を始めている人や、内容を聞いて加入に疑問を投げかける人の意見としては・・・

- ・登録は実質的にインターネットのみ
- ・マニュアルが膨大にある
- ・操作や説明書が頻繁に変更
- ・コストが想像以上に掛かる
- ・思っているより手間が掛かる
- ・サポート体制が整っていない
- ・登録料が高い上に5年更新だと？
- ・技能者の登録もお金がかかる！
- ・え？IDの発行も金かかる？1年ごと？何それ？

- ・1日1現場あたり10円とか？現場多いとうん万円？
- ・高齢化の建設業界 メリットあるの？
- ・申請して審査までされて手間暇かけてまだ毎月金！
- ・赤字だからって簡単に料金5倍も値上げ？？
- ・お国が「安全書類はこれ。それ以外は安全書類ではない」って決めてほしい。普通に全建書式でいいだろに。わざわざ使いにくいシステムを勧める意味がわからない。
- ・キャリアアップと安全書類って、ほぼ登録内容同じだから、どっちかにしてほしい。「キャリアアップで個人情報確認できるから、新規入場アンケートも作業員名簿もいらなくなる」と聞いたから一生懸命登録したのに、結局手間が4倍になっただけ。

などなど このシステムを運営する振興基金の裏事情までいろいろ書かれています。この振興基金のCALS/ECの登録とか更新とかも高額でしたね。あれも何か中途半端で 今どうなっているのかな～と思ってしまいます。あまりの不評に 高額講習はネットでの更新になってはいますが・・・

建設キャリアアップの わかりやすい図解もありました。



「もうしばらく様子を見よう」なんて言っていると「質問に受け答えできない窓口電話サービスは低下するのに徴収する各種金額は大幅値上げ」になってしまうかも、という話もあります。(あ、電話サービスはもう廃止されたようです)

ともかく マルジンは 事業者登録も済ませ 技能実習生も登録が済んでいます。が、全社員におきましては今のところまだ未加入社員が多数派です。そして 元請様ごとに「うちこれ使っているからこれにして！」という キャリアアップシステムと連携できるシステム(グリーンサイトやビルディ等々)に ちょっと先行き心配しながらも必要に応じて作業員を登録しております。今後、できれば使いやすいシステムで なおかつ統一して安価なものであって 管理する側も、現場で働く側も双方が本当に喜べるものであってほしいと願っている次第です。